

平成19年3月期 第1四半期の事業報告にあたって

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成19年3月期第1四半期（平成18年4月1日から同年6月30日まで）連結決算の概要をこのウェブサイトを通じてご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は、本年5月に本年度から平成20年度までの3カ年の中期経営計画<FORWARD（フォワード） 08>を策定し、新たなスタートを切りました。当社グループがグローバル競争に勝ち抜いて安定的・継続的に発展するため、MFP（多機能複写機）・プリンタやデジタル印刷機、医療機器などの「機器・サービス事業群」と、光学コンポーネントやディスプレイ部材などの「コンポーネント事業群」を両輪として成長を加速させていくことを狙いとしています。

本計画に掲げたグループ目標の達成に向けた第一歩として、当第1四半期は販売好調なカラーMFPや液晶材料などが牽引役となり順調な滑り出しとなりました。各事業の状況につきましては、次ページ以降の営業概況の中で詳しくご説明いたしておりますので是非ご高覧ください。

第2四半期以降も当期業績目標の必達、及び<FORWARD（フォワード） 08>の確実な遂行を常に念頭に置き、当社グループ企業価値の増大・最大化に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成18年8月

コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長 太田 義勝

## 連結財務ハイライト

(単位：百万円、未満切捨)

	平成19年3月期第1四半期	平成18年3月期第1四半期	増減
売上高	241,272	244,023	△2,750
営業利益	22,240	18,183	4,056
経常利益	21,468	17,761	3,707
四半期(当期)純利益	10,555	7,316	3,239

### グラフ

- ▶ [売上高の比較](#) □
- ▶ [営業利益・経常利益・純利益の比較](#) □

(単位：百万円、未満切捨)

	平成19年3月期第1四半期	平成18年3月期第1四半期	増減
総資産	915,433	943,739	△28,306
純資産	305,238	345,229	△39,991
自己資本比率(%)	33.0	36.6	△3.6
有利子負債	230,712	262,931	△32,219

### グラフ

- ▶ [有利子負債残高の推移](#) □

(単位：百万円、未満切捨)

	平成19年3月期 第1四半期	平成18年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,774	△3,623	6,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,984	△11,974	989
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,955	15,232	△22,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	65,960	59,498	6,462

営業概況（平成18年4月1日～同年6月30日の3ヶ月）

第1四半期は、継続事業を中心に順調な滑り出し

連結売上高

2,412 億円（前年同期比  $\Delta 1.1\%$ ）



当四半期の連結売上高は、ほぼ前年同期並みの2,412億円となりました。事業終了を決定したフォトイメージング事業が売上を大きく減少させていますが、販売好調なカラーMFP（多機能複写機）や強い需要に支えられて拡大基調が続く液晶材料など他の事業分野は堅調に推移し、いずれも概ね前年同期比2桁の増収となっております。

営業利益

222 億円（前年同期比  $+22\%$ ）



競争激化に伴う価格下落による影響を全社的なコストダウンや新製品を中心とした販売増などで吸収し、更に円安効果も加わり、売上総利益率は前年同期の48%から49%へと1ポイント上昇しました。

販売費及び一般管理費では、情報機器事業など成長分野を中心に研究開発費が10億円増加しましたが、合理化効果や経費の削減努力もあり、前年同期比30億円の減少となりました。これらの結果、営業利益は222億円となり前年同期比40億円（22%）の増益となりました。

経常利益

214 億円（前年同期比  $+21\%$ ）



四半期純利益

105 億円（前年同期比  $+44\%$ ）



営業外損益はほぼ前年同期並みとなった結果、経常利益は214億円となり前年同期比37億円（21%）の増益となりました。また、固定資産売却損益や投資有価証券売却益等の特別損益を計上した結果、当四半期の税金等調整前四半期純利益は222億円（前年同期比65%増）、四半期純利益は105億円（前年同期比44%増）となりました。

#### 注力分野への積極投資

本年秋稼動を目標に、カラーMFPの販売拡大に伴って需要拡大が見込まれる重合法トナーの新工場（長野県辰野町）、需要拡大が続く液晶偏光板用保護フィルム（TACフィルム）の第4製造ライン（兵庫県神戸市）の2工場の建設を進めております。これら注力分野への積極投資を行った結果、設備投資額は前年同期比57億円増の169億円となりました。

減価償却費は、前期に行ったフォトイメージング事業などの固定資産の減損処理による減少分と、昨年9月に竣工したTACフィルムの第3製造ラインや中国（無錫市）のMFP組立工場の新たな償却負担増が均衡し、ほぼ前年同期並みの121億円（前年同期比3億円減）となりました。

財政状況

総資産

9,154 億円 (前期末比  $\Delta$ 286億円)



主に、現金及び預金、売上債権、たな卸資産、投資有価証券等が減少しました。  
また、有利子負債は58億円減少の2,307億円となりました。

純資産

3,052 億円 (前期末比 +114億円)



自己資本比率

33.0% (前期末比 +1.9ポイント)



主な要因は、利益の創出による利益剰余金の増加です。  
また、1株当たり純資産は575.03円 (前期末比21.53円増加) となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

27 億円

税金等調整前四半期純利益222億円に加え、減価償却費、売上債権の減少等によりキャッシュを創出しましたが、前期末に引き当てたフォトイメージング事業の事業撤退損失引当金の減少によるマイナス影響や法人税等の支払いなどが影響しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

$\Delta$  109 億円

主な支出項目は、中核事業である情報機器事業及び戦略事業のオプト事業における有形・無形固定資産の取得です。

財務活動によるキャッシュ・フロー

$\Delta$  69 億円

有利子負債の返済を中心に69億円のマイナスとなりました。

当四半期末の現金及び現金同等物の残高

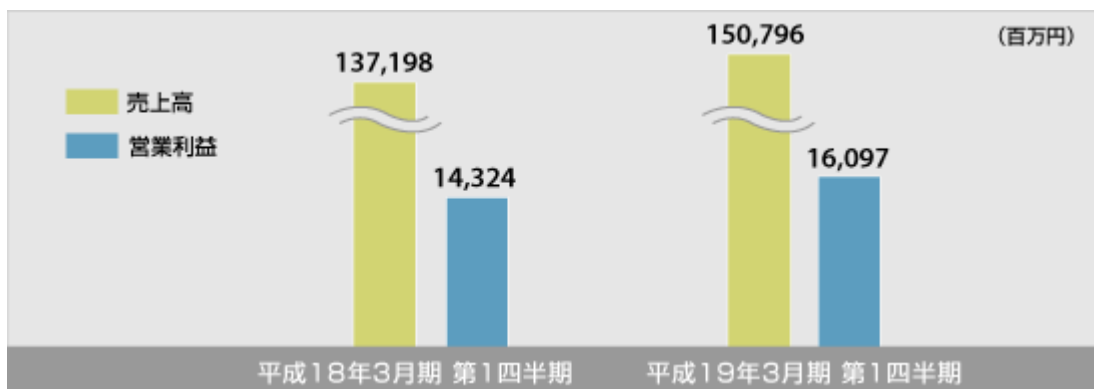
659 億円

前期末残高から149億円減少の659億円となりました。

セグメント別営業概況

情報機器事業：MFP（多機能複写機）、プリンタなど

前年同期比10%の増収、12%の増益



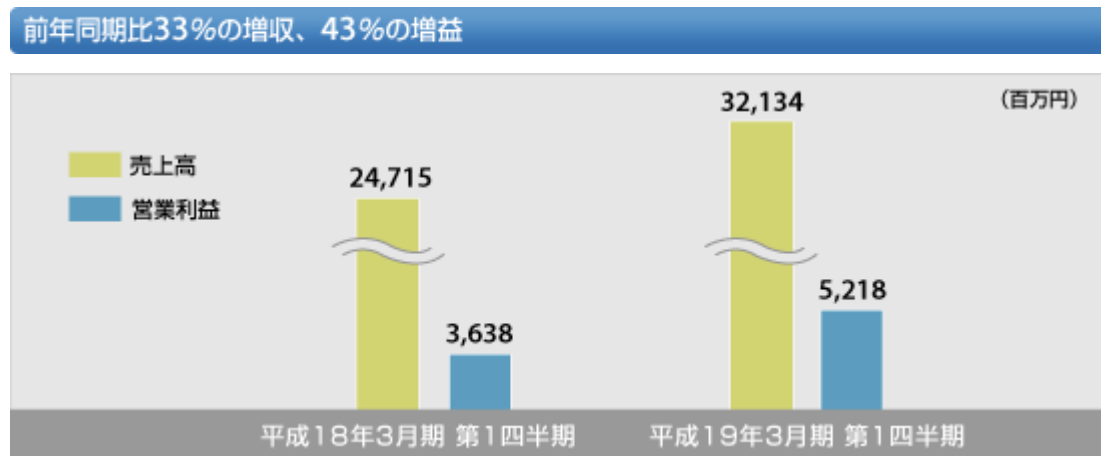
MFP分野：

成長が加速しているカラーMFP分野での当社事業基盤の拡大に注力しました。これまで中高速領域に重点をおいて拡充を図ってきた「bizhub（ビズハブ）」シリーズの商品ラインアップに、5月発売の「bizhub C352/C300」の2機種を加え、商品力の更なる強化に努めました。いずれの製品も当社独自の重合法トナーによる高品位なプリント画質とタンデムエンジンの採用による高生産性が高く評価され、各国市場での販売が好調に推移しました。この結果、カラーMFP販売台数は、前年同期比で76%増と大幅に拡大しました。また、同様に高い成長が期待されるライトプロダクションプリント市場向けには、「bizhub PRO（ビズハブプロ） C500」（カラー・モノクロとも51枚/分）などの高速MFPが引き続き市場に受け入れられ、米国市場を中心に堅調な販売が続いています。これらカラーMFPや高速MFPなど注力分野での販売拡大に加え、オフィス向けモノクロMFP分野でも前期に大量投入した新製品の販売好調が持続し、MFP販売台数全体でも前年同期比で21%と大きく拡大しました。

プリンタ分野：

これまで以上にプリントボリュームが見込まれる一般オフィスをターゲットとして「magicolor（マジカラー） 5400シリーズ」（カラー・モノクロとも25.6枚/分）など中高速セグメントのタンデムカラープリンタの販売強化に積極的に取り組みました。

| オプト事業：光学デバイス、電子材料など



光ピックアップレンズ分野：

DVD製品用の対物レンズはセットメーカーでの減産調整もあり、販売数量は前年同期比で微増にとどまりました。また、BD（ブルーレイディスク）やHD-DVDなど次世代DVD向けの開発費の増加や価格低下の影響を受け、事業収益は前年同期を下回る結果となりました。

液晶材料分野（液晶偏光板用保護フィルムなど）： 通常品及び視野角拡大フィルム等の高機能製品ともに引き続き販売は好調に推移しました。昨年9月に竣工した第3製造ラインの本格稼働により生産能力が増強され、販売数量は前年同期比約6割増となりました。

ガラス製ハードディスク基板分野：

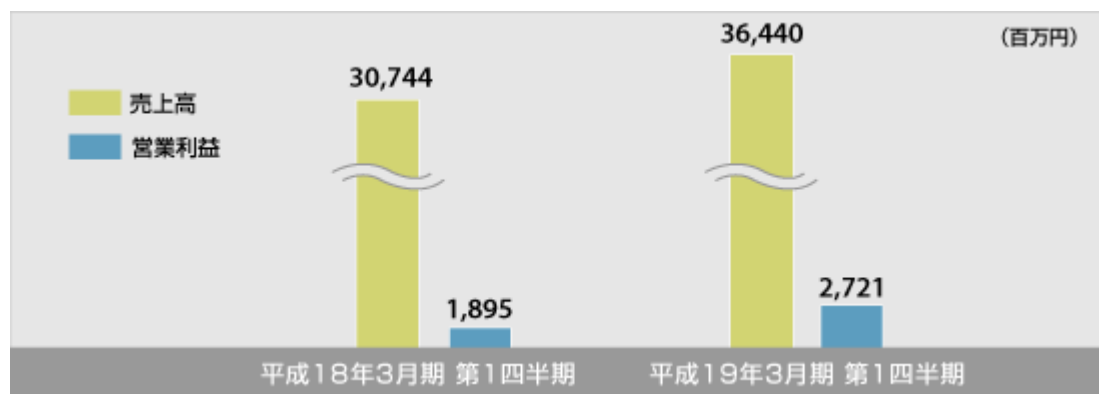
PC用途だけでなく携帯デジタルオーディオ機器やカーナビシステム等のデジタル家電向けの旺盛な需要に支えられ販売は好調に推移し、販売数量は前年同期比で約4割増と拡大しました。

カメラ付携帯電話向けコンポーネント分野：

マイクロカメラの出荷が本格化し、販売数量は前年同期比で約5倍になるなど大いに伸張しました。

| メディカル&グラフィック事業：医療用・印刷用製品など





メディカル（医療）分野：

デジタルX線画像読取装置「REGIUS（レジウス）」シリーズや画像出力装置「DRYPRO（ドライプロ）」シリーズ等のデジタル入出力機器の販売台数は前年並みとなりました。一方、昨年来、取り組んできたこれら入出力機器の販売拡大により市場設置台数が着実に増加した結果、ドライフィルムを中心にフィルム販売が前年同期比**25%**増と好調に推移し当四半期業績に大きく寄与しました。

グラフィック（印刷）分野：

印刷工程のデジタル化に伴ってフィルムレス化が進行していますが、アジア・中近東など海外市場での販売好調が国内での不振をカバーし、販売数量は全体として前年同期比で微増となるなど健闘しました。また、フィルムレス化に対応した事業構造への転換を目指して機器販売を強化していますが、デジタル色校正システム「デジタルコンセンサス プロ」の販売台数は前年並みとなる一方、デジタルカラー印刷機「Pagemaster PRO（ページマスター プロ）」の販売は伸び悩みました。

## その他

計測機器事業：色計測・三次元計測機器など

当事業では、光源色・物体色・輝度・照度・温度・医用・物体形状など様々な測定を最新の光学技術で計測するユニークな計測機器を国内外のお客様に提供しています。当四半期は、自動車産業やフラットディスプレイ業界をターゲットとした色計測分野での販売が堅調に推移しました。また、三次元計測機器分野では、工業用途・学術用途など販路拡大に取り組みました。

インクジェットプリンタ事業：産業用インクジェットプリンタヘッド、大判インクジェットプリンタなど

当事業では、当社の保有するインクジェット技術や化学、インクに関する独自技術を活かして大手プリンタメーカー向け高精細プリンタヘッド及びインク、及びテキスタイル向け大型インクジェットプリンタの販売を行っております。**2005年1月**に事業会社を設立して当四半期は**2年目**となりますが、国内外のお客様への販売が順調に推移しています。

フォトイメージング事業：写真感光材料など

本年**1月19日**に発表いたしましたとおり、カメラ及びミニラボにつきましては**2006年3月末**をもって事業活動を終了し、アフターサービスについては各々、ソニー株式会社及びノーリツ鋼機株式会社他に業務委託いたしました。残るカラーフィルム及び印画紙につきましては、**2006年度末**までに生産を終了し、**2007年9月**までに販売終了できる体制をとり、その後は完全に事業終了する計画であります。この事業終了の計画に沿って売上高は大きく減少しておりますが、営業損益につきましては、合理化や固定費及び経費削減を徹底し、損失幅を圧縮することができました。

連結財務諸表（要約）

貸借対照表

（単位：百万円、未満切捨）

勘定科目	平成19年3月期 第1四半期 (H18.6.30現在)	平成18年3月期 第1四半期 (H17.6.30現在)	増減	平成18年3月期 (H18.3.31現在)
	金額	金額	金額	金額
現金及び預金	65,960	59,348	6,611	80,878
受取手形及び売掛金	229,992	226,478	3,513	246,264
たな卸資産	146,765	183,307	△36,541	149,428
その他	67,048	62,360	4,688	63,579
流動資産合計	509,766	531,495	△21,728	540,152
有形固定資産	224,012	223,888	124	216,127
無形固定資産	100,896	107,539	△6,642	103,483
投資その他の資産	80,757	80,816	△58	84,291
固定資産合計	405,666	412,243	△6,577	403,902
資産合計	915,433	943,739	△28,306	944,054
支払手形及び買掛金	113,067	135,179	△22,111	117,974
有利子負債	230,712	262,931	△32,219	236,561
その他	266,414	198,562	67,851	292,947
負債合計	610,194	596,673	13,521	647,483
少数株主持分	—	1,836	—	2,753
資本合計	—	345,229	—	293,817
負債・少数株主持分 及び資本合計	—	943,739	—	944,054
資本金	37,519	—	—	—
資本剰余金	204,141	—	—	—

利益剰余金	53,099	—	—	—
自己株式	△942	—	—	—
株主資本合計	293,818	—	—	—
評価・換算差額等合計	8,588	—	—	—
少数株主持分	2,831	—	—	—
純資産合計	305,238	—	—	—
負債及び純資産合計	915,433	—	—	—



連結財務諸表（要約）

損益計算書

（単位：百万円、未満切捨）

	平成19年3月期 第1四半期 H18.4.1～H18.6.30		平成18年3月期 第1四半期 H17.4.1～H17.6.30		増減		平成18年3月期 H17.4.1～H18.3.31	
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	増減率 (%)	金額	百分比 (%)
売上高	241,272	100.0	244,023	100.0	△2,750	△1.1	1,068,390	100.0
売上原価	123,146	51.0	126,903	52.0	△3,757	△3.0	575,163	53.8
売上総利益	118,126	49.0	117,119	48.0	1,006	0.9	493,227	46.2
販売費及び一般管理 費	95,885	39.8	98,935	40.5	△3,050	△3.1	409,811	38.4
営業利益	22,240	9.2	18,183	7.5	4,056	22.3	83,415	7.8
営業外収益	2,223	0.9	2,303	0.9	△80	△3.5	14,879	1.4
営業外費用	2,995	1.2	2,725	1.1	269	9.9	21,457	2.0
経常利益	21,468	8.9	17,761	7.3	3,707	20.9	76,838	7.2
特別利益	1,095	0.5	35	0.0	1,059	—	3,353	0.3
特別損失	277	0.1	4,295	1.8	△4,018	△93.5	116,126	10.9
税金等調整前 四半期(当期)純利益	22,286	9.2	13,502	5.5	8,784	65.1	△35,934	△3.4
税金費用	11,662	4.8	6,088	2.5	5,573	91.5	17,533	1.6
少数株主利益	68	0.0	96	0.0	△28	△29.4	837	0.1
四半期(当期)純利益	10,555	4.4	7,316	3.0	3,239	44.3	△54,305	△5.1

連結財務諸表（要約）

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円、未満切捨）

	平成19年3月期 第1四半期 H18.4.1～H18.6.30	平成18年3月期 第1四半期 H17.4.1～H17.6.30	平成18年3月期 H17.4.1～H18.3.31
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,774	△ 3,623	78,924
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,984	△ 11,974	△ 43,146
I+II. フリー・キャッシュ・フロー	△ 8,210	△ 15,597	35,778
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,955	15,232	△ 16,850
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	30	376	2,463
V. 現金及び現金同等物の増減額 （減少:△）	△ 15,134	11	21,391
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	80,878	59,485	59,485
VII. 新規連結等による現金 及び現金同等物の増加額	216	1	1
VIII. 現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高	65,960	59,498	80,878

## トピックス

### 経営関係

---



カラー銀塩写真用印画紙を製造する小田原サイトを大日本印刷株式会社に譲渡

- ▶ [プレスリリース](#)
- ▶ [カメラ事業、フォト事業の終了について](#)

### 事業関係

---



毎分**65枚**の高速出力、デジタルカラー複写機「bizhub PRO C6500」を発売

- ▶ [もっと詳しく](#)
- ▶ [プレスリリース](#)



1台で多彩な機能を実現、**A4カラー**レーザ複合機「**magicolor 2480MF**」を発売

- ▶ [もっと詳しく](#)
- ▶ [プレスリリース](#)



X線用非イオン性造影剤のシリンジタイプを拡充、**2品種**を発売

- ▶ [もっと詳しく](#)
- ▶ [プレスリリース](#)

### 社会環境関係

---



「**コニカミノルタCSRレポート2006**」を発行・WEBサイト上でも公開

- ▶ [プレスリリース](#)
- ▶ [CSRの取り組み](#)

### その他

---



世界最高発光効率の有機**EL**白色発光デバイスを開発

- ▶ [プレスリリース](#)



“走る”ことを通じて夢や感動をご提供する「ランニングプロジェクト」発足

- ▶ [プレスリリース](#)
- ▶ [ランニングプロジェクト](#)



「満天別館～プラネタリアム運営ブログ～」開始  
▶ [サンシャインスターライトドーム“満天”](#)